



TOYODA GOSEI

News Release

2023年10月20日

「トップコートレス ホットスタンプグリル」が 新型 LEXUS LM に採用

～省工程化による CO₂ 削減で、カーボンニュートラル実現に寄与～

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長 兼 CEO:齋藤克巳)は、新たに開発したホットスタンプ技術[※]を用いたフロントグリルを市場投入し、トヨタ自動車株式会社の新型 LEXUS LM に採用されました。

今回、当社が開発した技術を用いたグリルでは、製品に転写する箔の改良により、従来、風雨や紫外線などによる劣化を防ぐために必要とされていたトップコートの塗布を不要にしました。樹脂材料の知見を活かし、箔の保護層に高耐候性樹脂を適用、さらに厚膜化することで、従来品と同等の耐久性を実現しています。トップコートの塗布工程が不要になることで、生産時の CO₂ 排出量を 2 割削減でき、またコーティング材料が不要になることで省資源化にもつながります。

今後も当社は、2030 年までのカーボンニュートラル実現に向けて製品・工程の環境負荷低減を進めるとともに、車のグレードに応じた、多様な製品の実現に寄与する加飾の開発に取り組んでいきます。

※ 熱で製品に箔を転写し金属調の質感を付与する技術で、突起部など表面積が狭い箇所へのスポット加飾が可能。

<LEXUS LM のフロントグリル>



今回開発した技術による加飾の拡大写真(赤点線内)



<トップコートレスホットスタンプ技術のポイント>

